明星電気の活動をご紹介します

MEISEI

Meisei Topics

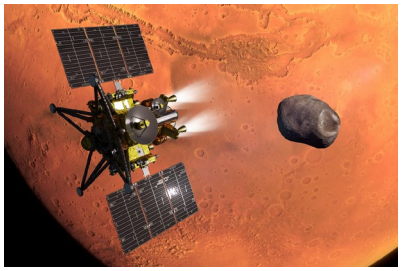
Vol.231
2026.11

明星電気の技術が支える火星衛星探査計画「MMX」

10月20日、JAXA（宇宙航空研究開発機構）が進める火星衛星探査計画「MMX（Martian Moons eXploration）」の探査機が、H3ロケット10号機により打ち上げられました。
MMXは、火星の衛星フォボスからのサンプルを採取して地球に持ち帰ることを目指す探査計画です。明星電気は長年培ってきた宇宙機器開発技術を活かし、複数の観測機器の開発に携わっています。

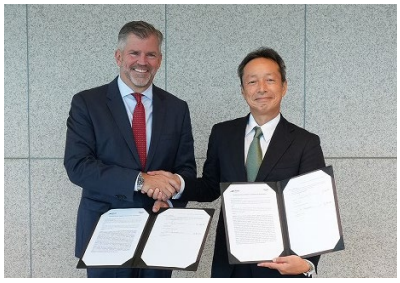
主な開発参画機器：
・TENGOO（望遠カメラ）：火星衛星表面の詳細な地形観測を実施
・OROCHI（広角分光カメラ）：地形や表面物質の分布を広域的に観測
・CMDM（火星周回ダストモニタ）：火星周辺空間に存在するダスト環境を計測
・MSA（イオンエネルギー質量分析器）：火星圏のイオン環境を観測
・IREM（惑星空間放射線環境モニタ）：惑星間空間における放射線環境を計測

明星電気は、これらの観測機器を通じて、MMXミッションの科学目標の達成を支えるとともに、日本の宇宙科学・惑星探査の発展に貢献していきます。


MMXイメージ画像 ©JAXA

LZC社と成層圏プラットフォームに関するパートナーシップを締結

当社は、カナダのLanding Zones Canada Inc.（LZC社）と成層圏プラットフォームに関するパートナーシップを締結し、9月30日に駐日カナダ大使館で調印式を執り行いました。本協定に基づき、両社はカナダにおける成層圏飛行キャンペーンを共同で推進します。
当社の成層圏プラットフォームとLZC社の回収可能な高高度無人航空機システムを組み合わせ、気象観測、災害対応、安全保障分野での活用を目指します。今秋よりアルバータ州およびカナダ北極圏で準備・初期試験を開始し、今後3年間にわたり本格的な飛行キャンペーンを展開する計画です。
本取り組みを通じて、成層圏利用技術の高度化と科学的知見の拡大を図るとともに、防災・減災や安全保障分野における新たなソリューション創出に取り組み、日本とカナダ両国の航空宇宙分野の連携強化と安全・安心な社会の実現に取り組んでいきます。


LZC社 CEO スペンサー・フレーザー氏
当社夏明社長（右）

日印・官民防衛産業フォーラムに出展しました

10月13日、駐日インド大使館（東京都千代田区）で開催された「日印・官民防衛産業フォーラム」に出展しました。本フォーラムは、日印両国の防衛産業関係者の交流促進と防衛装備・技術協力の発展を目的として開催されたものです。
当社ブースでは、GPSラジオゾンデ「iMS-100 eco」およびGNSSラジオゾンデ受信機「RD-18M」を出展しました。また、ピッチイベントでは高層気象観測ソリューションを発表し、技術的特長や海外での活用事例を紹介しました。
防衛分野における気象観測技術のニーズや市場動向への理解を深める貴重な機会となり、今後の事業機会の拡大や新たなパートナーシップの構築につながる有意義な出展となりました。
当社は今後も、高層気象観測技術のさらなる高度化と普及を通じて、防衛分野をはじめとするさまざまな分野での活用拡大を推進していきます。


ブースでの製品紹介の様子

【文中：敬称略】

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing＆Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます。

明星電気株式会社 〒372-8585 群馬県伊勢崎市長沼町2223番地
TEL:0270-32-1111 E-mail:cs@meisei.co.jp
公式サイト
X 公式アカウント
NOHMI 能美防災グループ